

最新版

親子で学ぶインターネットの セキュリティ【前編】



犯罪やトラブルから子どもを守るためのルール

インターネット上のトラブルを見ると、子どもによるパソコンや携帯電話の利用を全面的に禁止したくなる気持ちもわかります。しかし、それだけで問題は解決しません。親に内緒でインターネットを利用してしまうことの方が危険でしょう。インターネット上のトラブルや犯罪から守るためのルールを親子で決め、子どもにそれを守らせることが大切です。

👉 子どもたちに守ってもらいたいルール

■ 他人の悪口や犯罪をほのめかすような文章を書き込まない

だれかが不快感や恐怖感を覚えるようなインターネット上の発言はトラブルの原因になります。友人や知人だけでなく、見知らぬ相手とのトラブルを引き起こす可能性もあります。また、冗談であっても掲示板に犯罪をほのめかすような書き込みをさせてはなりません。内容によっては、業務妨害や脅迫などの犯罪になるため、警察が捜査にあたれば、IPから発信元を特定され、逮捕される恐れもあります。

■ 個人情報を書き込まない

公開された名前や住所、メールアドレス、携帯電話番号などの個人情報が悪用されれば、子どもが犯罪の標的になる恐れもあります。SNSの場合、プロフィール欄などに個人情報やそれに近い情報を安易に公開してしまいがちですが、これらの情報は誰にでも見られる情報であることを教えておくことが大切です。

また、写真をインターネットに公開する時も要注意です。GPS機能を利用できる携帯電話やスマートフォンに搭載されているカメラは、写真データに撮影場所の位置情報を記録することができます。この機能により、撮影場所を探したり、インターネットの地図サービスと連携することなどができ、写真の楽しみが広がります。

一方、子どもの行動範囲を特定される可能性もあるため、インターネットに公開する際には、位置情報を削除するようにしましょう。

※位置情報の削除の方法については、「他人に見られたくないデータ 消し忘れていませんか？」を参考にしてください。(http://is702.jp/special/1060/)

■ 友人や他人にパスワードやユーザIDを教えたり、聞いたりしない

だれかが自分のふりをして、掲示板やブログに書き込みをしたり、ゲームにアクセスしたりする可能性があることを子どもに認識させることが大切です。また、友人や他人のアカウントを使用してゲームにアクセスすれば、遊びのつもりであっても、法律に触れる恐れがあることを理解させましょう。また、パスワードやユーザIDは定期的に更新するよう、親が注意を払うようにしましょう。

■ 知らない人からのメールに返信しない

パソコンや携帯電話のメールに怪しげなメッセージが届いたら、親に相談するようしておくことも大切です。SNSやコミュニティサイトの場合、知らない人とのコミュニケーションも楽しみの一つですが、どこに危険が待ち受けているかわかりません。知らない人からのメールやメッセージには安易に返信させないようにすることも大切です。また、インターネットで知り合った人と会うことの危険についても伝えましょう。

■ 頻繁に閲覧、利用するウェブサイトは親に知らせる

パソコンや携帯電話のメールに怪しげなメッセージが届いたら、親に相談するようしておくことも大切です。SNSやコミュニティサイトの場合、知らない人とのコミュニケーションも楽しみの一つですが、どこに危険が待ち受けているかわかりません。知らない人からのメールやメッセージには安易に返信させないようにすることが大切です。また、インターネットで知り合った人と会うことの危険についても伝えましょう。

■ 1日の利用時間を守る

なにごとにも適度な利用が大切です。インターネットに熱中するあまり、生活リズムを崩してしまう恐れもあります。平日や週末、また夏休みなど子どもの生活習慣に合わせて、利用時間を話し合うようにしましょう。セキュリティソフトの中には、閲覧できるサイトやインターネットの利用時間が制限できるなど、子どもを守るための機能を搭載したものもあります。ルールと合わせて、こうしたサービスを利用することで、子どもに習慣づけることをおすすめします。